

Support

新潟市教育委員会
学校支援課だより

<http://www.city.niigata.jp/info/gakusi/>

No. 5

平成21年8月21日

編集・発行

学校支援課 広報担当

マイスター養成塾修了者が 指導主事として活躍します！

教科指導に力をもつ市立小中学校に勤務するマイスター養成塾修了者を新潟市教育委員会指導主事として兼務発令しました。これは、マイスター養成塾修了者の教科指導力を活用したり、活躍の場を保障したりすることで、学校の教育力や若手教員の一層の指導力の向上を図るものです。

また、学校現場に勤務するマイスター養成塾修了者は、勤務実態に応じた現場に即した視点からも、学校や教職員への指導を行うことができます。

今年度は4人の方々が、要請訪問や総合教育センターの研修指導者として活動する予定です。

由野 和美(英語)

新津第五中学校

マイスター養成塾での経験や学んだことを少しでも皆様に還元し、お役に立てることができたら嬉しいです。確かな学力をはぐむべく、「授業力アップ」を目指し、研修等を通して共に成長していきたいと考えます。どうぞよろしくお願いいたします。



佐藤 貴子(外国語活動)

白根小学校

小学校外国語活動は、始まったばかりです。学習指導要領に正対した活動を構築するお手伝いできればと、思っています。子どもが、「相手の思いを分かりたい」「伝えたい」と実感できる授業と一緒に作りましょう。どうぞ、よろしくお願いいたします。



三條 貴之(特別活動)

青山小学校

新学習指導要領を受け、各校では「生活づくり」を大切にしている特別活動(学級活動)に取り組んでいることと思います。

今後、特活の大切さや楽しさをみなさんに伝え、少しでもみなさんの役に立てるよう努力します。よろしくお願いいたします。



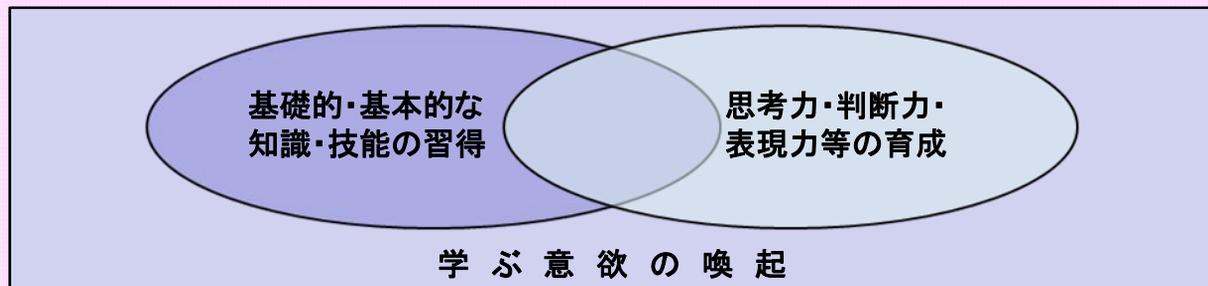
八百板 恵理子(理科)

巻北小学校

「なぜ？調べてみたい！」「なるほど！」と児童が主体的に問題を解決する授業を目指しています。学校では、3年生と6年生の理科を担当しています。子どもたちは不思議が大好きです。それを出発点に、新しい見方考え方を獲得させ、自ら考え解決していく力を育てる理科指導について、先生方と一緒に考えていきたいです。よろしくお願いいたします。



新潟市の育てたい「学力」とは



学ぶ目的意識・将来への夢や希望

上記の図のように、新潟市の学力は、「基礎的・基本的な知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力等の育成」「学ぶ意欲の喚起」の三つの要素からなります。そして、それを支えるものとして、「学ぶ目的意識・将来への夢や希望」があります。

新潟市の学力実態

4月に実施した学力調査の結果は、以下のとおりです。8月末には今年度の全国学力・学習状況調査の結果も届きます。新潟市全体の学力実態の分析結果は、昨年度同様、新潟市で実施している学力調査（NRT）と全国学力・学習状況調査の結果分析を合わせて各校にお知らせします。

図書文化社版NRT 小学校92校，中学校48校の結果

	学年	偏差値		学年	偏差値
国語	小学5年生	53.1	国語	中学2年生	52.7
社会	小学5年生	52.1	社会	中学2年生	51.3
算数	小学5年生	53.2	数学	中学2年生	49.3
理科	小学5年生	50.5	理科	中学2年生	50.9
			英語	中学2年生	49.5

東京書籍版NRT 小学校21校，中学校9校の結果

	学年	偏差値	思考・分析力	応用・判断力	説明・表現力
国語	小学5年生	52.3	51.4	51.2	52.3
社会	小学5年生	52.3	52.3	52.1	50.6
算数	小学5年生	53.2	52.0	52.0	52.6
理科	小学5年生	53.4	52.1	51.5	53.3
	学年	偏差値	思考・分析力	応用・判断力	説明・表現力
国語	中学2年生	51.5	49.7	50.5	52.6
社会	中学2年生	50.7	49.9	50.6	51.2
数学	中学2年生	50.6	50.7	51.2	49.6
理科	中学2年生	49.6	49.5	50.3	49.0
英語	中学2年生	50.4	50.4	49.5	50.5

「図書文化社版NRT」は、基礎的・基本的な知識・技能の習得状況を測ります。「東京書籍版NRT」も基礎的・基本的な知識・技能の習得状況を測りますが、思考力・判断力・表現力という観点からも結果分析ができます。

学校支援課の取組



指導主事訪問及び区担当指導主事訪問を実施しています。
また、要請訪問にも対応しています。現在秋の訪問要請が寄せられています。

全小・中学校から提出された学習指導改善計画書をもとに、特色ある取組を学校訪問等で紹介したいと考えています。

今年度も「授業改善フォーラム」を実施します。

今年度は、2010年1月25日(月)に黒崎市民会館で実施します。

講師として、国立教育政策所の学力調査官(小学校算数と中学校国語担当の調査官)の銀島 文先生と杉本 直美先生を予定しています。

学力向上担当指導主事にインタビュー

新潟市教育委員会の学力向上担当では、どのような学力向上策が有効かを探っています。その一環として、全国学力・学習状況調査において、2年連続良好な成績を収めた秋田県を、学校支援課の指導主事2人が訪問してきました。その時の様子を聞いてみました。

話し手 秋田県を訪問した 齋藤 純一 指導主事(国語担当)
佐藤 岩夫 指導主事(算数・数学担当)

Q: どうして秋田県に行かれたのですか？

齋藤 新潟市でも検証改善委員会を立ち上げ、全国学力・学習状況調査の分析をし、授業改善フォーラムを開催してきました。今年度も行いますが、秋田県に行って、何か新潟市にも活かせることはないかをお聞きしてみたいと思ったからです。秋田県教育委員会の訪問とともに、大館市教育委員会のご協力を得て大館市立桂城小学校と大館市立第二中学校でお話を聞いてきました。

Q: 秋田県の教育はいかがでしたか？

佐藤 私は、「指導と評価を一体化」と「低学力層の底上げ」に力を入れていることがとても印象に残っています。1時間の中に必ず評価問題を入れたりする「あきた型 算数・数学の授業」に両校とも取り組んでいました。放課後や長期休業等を活用した個に応じた指導にも熱心に取り組まれていました。

齋藤 いずれも新潟市でもやっていることでしたが、それを徹底しているという感じでしたね。私は、子どもたちの解く問題量がとても多かったのが印象深かったです。国語については、秋田県でも授業の中で「読んで考えて書く」ことを大切にしていることが分かりました。

Q: この秋田県への訪問を今後どのように生かしていきますか？

佐藤 新潟市の取組と秋田県の取組の共通点も多かったです。しかし、秋田県から学ぶべき点もたくさんありました。これから、私たちは新潟市の子どもたちの学力を向上させるための方策を考えていきます。その際に、取り入れられる点を取り入れていけたらよいと考えています。



た習夏
ちに休
取り
み中
組の
む補
生徒
学



しく自
た。由
さん室
にに
選は
備る
して
あり
がた
が

特別支援教育のページ

西特別支援学校の開校準備が進んでいます

既に新聞、市報にいがた等の報道でご存知のように、新潟市教育委員会では、平成22年4月に新しい特別支援学校を開校します。

場所は、旧巻工業高校跡地で、県立高等養護学校手まりの里分校の隣接地である、西蒲区堀山新田です。校名は「市立西特別支援学校」です。この開校に伴い、東区にある現在の市立養護学校は、平成22年4月に「市立東特別支援学校」と名称変更します。

西特別支援学校は、子どもたちが伸び伸びと安心して活動できるように、設計段階から様々な工夫をしています。広々としたプレールームや日常生活体験室。通年使用可能な水浴遊戯室。余裕のある教室配置。床暖房・冷房施設が整っている教室もあります。明るいバリアフリーのトイレ、エレベーターやスロープ階段も設置します。この西特別支援学校に、スクールバスを3台配置して、南区、西区、西蒲区を運行する予定です。

この西特別支援学校は、センター的役割も積極的に果たします。教育相談活動、地域への理解推進活動、学校教職員向けの専門性向上研修など、平成22年度からは東西2校の市立特別支援学校が取り組みます。

この西特別支援学校の準備状況について、学校支援課ホームページに「西特別支援学校準備室だより」を掲載しています。たよりは毎月更新していきますので、どうぞご覧ください。

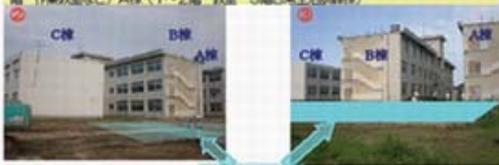


校舎建設工事がスタートしました

6月から始まった旧校舎の解体工事が終わり、本格的な建設・改修工事がスタートしました。今後、既存校舎3棟の全面改修と新築校舎およびバス車庫の建築を進めていきます。グラウンドからの工事車両の入口や工事の作業場所が先通されました。調整する手まりの里分校の置込み用通路を中心に基打ち作業を行い、秋にかけて解体工事や既存校舎の改修が行われます。11月末には新築校舎の着工が予定されています。



②旧校舎の解体と新築校舎予定地
C棟(1階 ランチルーム・2階 プレールーム)B棟(1~2階 教室・特別教室 3階 作業教室など)A棟(1~2階 教室 3階 自然生活体験科)



7月27日

市立養護学校のバスを乗り入れて、バス車庫の基礎掘削を行いました。西特別支援学校では、バス3台で南区、西区、西蒲区を運行する予定です。現在運行コースを検討しています。



平成22年4月開校 新潟市立西特別支援学校の準備を進めます！

新潟市教育委員会では、平成22年開校を目指し、「新潟市立西特別支援学校」の準備を進めています。現在、現場では工事が開始されました。今後、工事進捗状況について、随時お知らせしていきますのでご覧ください。

準備室紹介
転入学の相談などのご窓口になります。何でもお気軽にご相談ください。

新潟市教育委員会学校支援課
(西特別支援学校担当)
新幹線 中川 一之
TEL 025-226-3267



旧校舎の解体工事が始まりました

11日より、旧巻工業高校の一部の解体工事がスタートしました。7月半ばまでかけて、旧外装、内装、基礎の解体工事です。工事にあたっては、周辺「手まりの里分校」の学習活動に影響をできるだけ少なくすべく、配慮して進めています。

工事のお知らせ看板を3箇所設置しました！



！ 改修される旧巻工業高校の3つの棟。1階部分のみが設置されている渡り廊下を解体し3階までの廊下で各棟をつないでいきます。解体終了後のグラウンド側の新築工事が始まります。



新築校舎との接続部分の解体工事、屋上の縁や非常階段部分を解体し、新築校舎建設工事に入る。この3棟の校舎が、新築校舎エレベーター、スロープ階段、渡り廊下でつながります。！！

巻工業高校のプレハブ倉庫の解体工事

